

高山グリーンホテル 宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条 1項 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2項 当ホテルが法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

- 第2条 1項 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2項 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条 1項 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2項 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3項 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4項 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。但し、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条 1項 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2項 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

- 第4条の2 1項 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 1項 当ホテルは次に掲げる場合において宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
 - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
 - (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (10) 岐阜県旅館業法施行条例第3条の規定する場合に該当するとき。

(宿泊契約締結の拒否の説明)

- 第5条の2 1項 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条 1項 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2項 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3項 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条 1項

当ホテルでは次に掲げる場合において、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をすることおそれがあると認められるとき、又は同行偽をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (8) 岐阜県旅行業法施行条例第3条の規定する場合に該当するとき。
- (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。

2項

当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊契約解除の説明)

第7条の2 1項

宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊の登録)

第8条 1項

宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
- (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
- (3) その他当ホテルが必要と認める事項

2項

宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

3項

第1項第2号にあつては、旅館業法の省令に基づき、旅券の写しを当ホテルにて保管させていただきます。

(客室の使用時間)

第9条 1項

宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、本館は午後3時から翌朝10時まで、天領閣は午後3時から翌朝11時まで、桜凜閣・本館スイートルームは午後2時から翌朝11時までとします。ただし連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2項

当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。

この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 超過3時間までは、室料金の3分の1（又は室料相当額の30%）
 - (2) 超過6時間までは、室料金の2分の1（又は室料相当額の50%）
 - (3) 超過6時間以上は室料金の全額（又は室料相当額の100%）
- （前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。）

(利用規則の遵守)

第10条 1項

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 1項

当ホテルの主な施設などの営業時間は次の通りとし、その他の施設などの詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

- (1) フロント、キャッシャー等サービス時間
 - (イ) 門限（ロビー階正面玄関）24時間
 - (ロ) フロント 24時間
 - (ハ) キャッシャー 24時間
- (2) 飲食等（主な施設）サービス時間
 - (イ) 朝食 日本料理 緑亭・ダイニングマルシェ グリーンコート（午前7時～午前9時30分）
 - (ロ) 昼食 日本料理 緑亭・ダイニングマルシェ グリーンコート・中国料理 天京楼（午前11時30分～午後2時）
 - (ハ) 夕食 日本料理 緑亭・ダイニングマルシェ グリーンコート・中国料理 天京楼（午後5時～午後9時）
郷土料理 白川郷（午後5時～午後11時）
 - (ニ) その他 ラウンジ＆バー 木乃香（午前7時～午後11時）
パティスリー ベルアンジュ（午前10時～午後7時）
お土産処 飛騨物産館（午前7時～午後10時）他
- (3) 附帯サービス施設時間
 - (イ) 大浴場 午後3時～翌1時／午前5時～午前10時

前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。

その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

- 第12条 1項 宿泊客が支払うべき宿泊料金等は内訳及びその計算方法は、別表第1に掲げるところによります。
- 2項 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。
- 3項 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けません。

(当ホテルの責任)

- 第12条 1項 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2項 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。
- 3項 当ホテルは、宿泊客が客室でインターネット接続などのコンピューター通信を利用されたことによって生じた機器の障害、ソフトウェアの障害、通信の成否等による損害については一切の責任を負いかねます。また、システム障害や技術的問題によりご利用いただけなかったことや、通信の中断によって生じた損害についても一切の責任を負いかねます。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

- 第14条 1項 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2項 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。この場合、別表第2の「取消日」を「補償料支払いの通知をした日」と読み替えるものとします。ただし、客室を提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

- 第15条 1項 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは、10万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2項 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、10万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 1項 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2項 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3項 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

- 第17条 1項 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えた時は、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

- 第18条 1項 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

(支配する言語)

- 第18条 1項 本約款は日本語と英語で作成されていますが、日本語と英文との間に不一致又は相違があるときは、すべて日本語によるものとします。

(裁判管轄及び準拠法)

- 第18条 1項 本約款により宿泊契約及びこれに関連する契約に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意します。
- 2項 本約款に基づく宿泊契約及びこれに関連する契約の解釈および効力は、日本法に準拠します。

(約款の変更)

- 第18条 1項 当ホテルは、当ホテルの裁量により、本約款を変更することがあります。
- 2項 当ホテルが本約款を変更する場合、約款を変更する旨および変更後の約款の内容ならびにその効力発生日について、効力発生日までに、当ホテルホームページに掲載します。
- 3項 変更後の約款の効力発生日以降に、宿泊客が約款に基づくホテルのサービスをご利用されたときは、約款の変更に同意されたものとみなします。

General Terms & Conditions for Accommodation Contracts

(Scope of Application)

Article 1.1 Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations ("laws and regulations," or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.

2 In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the preceding Paragraph.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2.1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1); and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2 If Guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3.1 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2 When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

3 The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charge to be paid by the Guest, secondly for cancellation charges under Article 6 and thirdly for reparations under Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 12.

4 If the Guest fails to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of Payment of the deposit is specified.

(Request for cooperation in infection control measures at facilities)

Article 4-2 The Hotel may request cooperation from the person who intends to stay at the hotel in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5.1 The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and there is no vacancy;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation;
- (4) When the person who intends to stay at this hotel is deemed to fall under any of the following items (i) through (iii):
 - (i) Organized Crime Groups as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Groups"), members of organized crime groups as defined in Article 2, Item 6 of the same article (hereinafter referred to as "Members of Organized Crime Groups"), associate members of organized crime groups or persons related to organized crime groups, or other antisocial groups.
 - (ii) When the person is a organized crime group or a corporation or other organization whose business activities are controlled by a organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (iii) A person who is a juridical person and one of its officers falls under the category of an organized crime group member.
- (5) When the person requesting Hotel accommodation is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests;
- (6) When a person who intends to stay at this hotel is a patient, etc. of a specified infectious disease as defined in Article 4-2, paragraph 1, item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "patient, etc. of specified infectious disease");
- (7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation
(Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the "Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities") on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability.);
- (8) When the person who intends to stay in the Hotel has repeatedly made a request to the Hotel as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests;
- (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes; and
- (10) When the case falls under the provisions of Prefectural Ordinance Article 3;

(Explanation of refusal to conclude a contract of accommodation)

Article 5-2 The person who intends to stay may request the Hotel to explain the reasons for its refusal to enter into a contract of accommodation in accordance with the preceding article.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6.1 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.

2 If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3 If the Guest does not appear by 8:00 p.m. of the accommodation date without advance notice (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified), the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel)

Article 7.1 The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that this hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act:

- (1) When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation;
 - (2) When it is recognized that the Guest falls under any of the following items (i) through (iii):
 - (i) When the Guest is a crime group, a member of a crime group, a quasi-constituent of a crime group, or a person related to a crime group, or any other antisocial group.
 - (ii) When the Guest is a juridical person or other organization whose business activities are controlled by a crime group or a member of a crime group.
 - (iii) when the Guest seeking accommodation is a corporation which any of directors are proven to be a member of an organized crime group.
 - (3) When the Guest is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests;
 - (4) When the Guest is a patient, etc. of specified infectious disease;
 - (5) When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, paragraph 2 or Article 8, paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities);
 - (6) When the Guest repeatedly makes a request to this hotel that is so burdensome in its implementation that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as specified in the Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act;
 - (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - (8) When the case falls under the provisions of Prefectural Ordinance Article 3; and
 - (9) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, tampers with fire-fighting facilities and otherwise breaches Hotel Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires);
- 2 If the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any of the services during the contractual period he/she has not received.

(Explanation of Cancellation of Accommodation Contract)

Article 7-2 In the event that the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Registration)

Article 8.1 The Guest shall register the following particulars the Front Desk of the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, address, and contact information of the Guest(s);
 - (2) Nationality and passport number for foreigners who do not have a domicile in Japan; and
 - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 2 In the case where the Guest intends to pay his/her accommodation charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheque coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.
- 3 For Paragraph 1 Item 2, a copy of the Guest's passport will be kept at the Hotel in accordance with the Ministerial Ordinance of the Hotel Business Law.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9.1 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of Honkan Bldg. : from 3:00 p.m. on the day of arrival to 10:00 a.m. on the day of departure Tenryokaku Bldg. : from 3:00 p.m. on the day of arrival to 11:00 a.m. on the day of departure Orinkaku Bldg. and Suite (Honkan Bldg.) : from 2:00 p.m. on the day of arrival to 11:00 a.m. on the day of departure. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy the guest room all day, except for the days of arrival and departure.

2 The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall apply as follows:

- (1) Up to 3 hours: 30% of the room charge
- (2) Up to 6 hours: 50% of the room charge
- (3) More than 6 hours: 100% of the room charge

(Observance of Hotel Regulations)

Article 10 The Guest shall observe the Hotel Regulations established by the Hotel. Hotel Regulations are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11.1 The business hours of the Hotel main facilities are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in various places, the Service Directory in guest rooms and other means.

- (1) Service hours of the Front Desk, cashier, etc.

Closing time: Open 24 hours

Front service: Open 24 hours

Exchange service: Open 24 hours

- (2) Service hours for dining, drinking and etc.

Breakfast: Japanese restaurant Ryokutei, Dining Marché GREEN COURT 7:00 a.m. to 9:30 a.m.

Lunch: Japanese restaurant Ryokutei, Dining Marché GREEN COURT, Chinese restaurant Tenkyoro 11:30 a.m. to 2:00 p.m.

Dinner: Japanese restaurant Ryokutei, Dining Marché GREEN COURT, Chinese restaurant Tenkyoro, Local cuisine Shirakawago 5:00 p.m. to 11:00 p.m.

Others: Lounge and Bar Kinoka 7:00 a.m. to 11:00 p.m./Patisserie Bel ange 10:00 a.m. to 7:00 p.m./Souvenir shop Hida Bussankan 7:00 a.m. to 10:00 p.m.

- (3) Incidental service hours

Public bath 3:00 p.m. to 1:00 a.m. and 5:00 a.m. to 10:00 a.m.

2 The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Hotel. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12.1 The explanation of accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1.

Accommodation charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at Front

- 2 Desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Hotel in Japanese currency. Other means acceptable to the Hotel are traveler's cheques, coupons and credit cards.
- 3 Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13.1 The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

- 2 The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance to deal with unexpected fire and/or other disasters.
- 3 The Hotel is not liable at all for damage owing to equipment failure, software failure, communication result, etc. caused by the lodging Guest's using computer communication such as the Internet connection in the guest room. In addition, the Hotel cannot be held responsible at all for suspension and damage caused by system failures, technical problems or communication interruption.

(Handling When the Hotel is unable to provide Contracted Rooms)

Article 14.1 The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

- 2 When arrangement of other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to reparations. In this case, the term "Date when Cancellation of Contract is noticed" in the attached Table No.2 shall be deemed to be replaced with "Date when notice payment of compensation fee". However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15.1 The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused to goods, cash or valuables deposited at the Front Desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest for an appraisal of the value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 100,000 yen.

- 2 The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused, through intent or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the Front Desk. However, for articles of which the nature and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 100,000 yen.

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 16.1 When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to store it only in the case when such a request has been accepted from the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his/her check-in.

- 2 When the baggage or belongings of the Guest are found after check-out, the Hotel shall store it for 7 days including the acquisition date, and will report it to the nearest police.
- 3 The Hotel's liability in regards to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in regard to Parking)

Article 17 The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damage caused through intent or negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18 The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intent or negligence on part of the Guest.

(Governing Language)

Article 19 These terms are provided in both Japanese and English. In case of a discrepancy between the Japanese and the English, the Japanese version will take precedence.

(Jurisdiction and Applicable Laws)

Article 20.1 Any and all disputes arising from the Terms and Conditions for Accommodation Contract and any agreements related thereto shall be subject to the exclusive agreed jurisdiction of the District Court having jurisdiction over the location of the head office of the Hotel in the first instance.

- 2 The construal, clauses and effects of Accommodation Contract and any agreements related thereto based on these Terms and Conditions are governed by the laws of Japan.

(Contract Revise)

Article 21.1 The Hotel may revise these Terms and Conditions at the Hotel's own discretion.

- 2 In the case where the Hotel intends to revise these Terms and Conditions, the fact of such revision will be made, the content of these Terms and Conditions after such revision and the date on which such revisions take effect shall be notified on the Hotel's website by the date on which the revisions are due to take effect.
- 3 In the case where the Guest has used the Hotel's services based on these Terms and Conditions on or after the date on which the revised Terms and Conditions take effect, it shall be regarded that the Guest has agreed upon the revisions hereto.

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）

		内 訳
宿 泊 客 が 支 払 う べ き 総 額	宿 泊 料 金	(1)基本宿泊料〈室料（及び室料＋食事料）〉 (2)サービス料〈(1)の10%〉
	追 加 料 金	(3)追加飲食〈(1)に含まれるものを除く〉 (4)サービス料〈(3)の10%〉
	税 金	イ 消費税 ロ 入湯税（温泉地のみ）

- 備考1. 子供料金は、小学生以下に適用し、大人に準じる食事と寝具等を提供したときは大人料金の70%、子供用食事と寝具を提供したときは50%、寝具のみを提供したときは3,000円(税別)をいただきます。
2. 添い寝幼児3才～5才については、施設利用料として2,000円(税別)をいただきます。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

取 消 日	予 約 人 数												
	不 泊	当 日	前 日	2 日 前	3 日 前	5 日 前	6 日 前	7 日 前	8 日 前	14 日 前	15 日 前	20 日 前	30 日 前
8名まで	100%	100%	80%	50%	30%								
9名～30名まで	100%	100%	80%	50%	50%	30%	30%	20%					
31名～100名まで	100%	100%	80%	50%	50%	50%	30%	30%	20%	20%			
101名以上	100%	100%	80%	50%	50%	50%	50%	30%	30%	20%	20%	10%	10%

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 団体客(15名以上)の一部について、契約解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。
4. 取消日の基準は、日本の標準時とします。

Attached Table No.1
Calculation Method for Accommodation Charges
(Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents
Total amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	(1) Basic Accommodation Charge (Room charge including breakfast) (2) Service Charge ((1)×10%)
	Extra Charges	(3) Meals, Drinks and other Expenses (4) Service Charge ((3)×10%)
	Taxes	a. Consumption Tax b. Bathing Tax (Onsen site only)

- Remarks:
1. Children's rates apply to elementary school students and below. When providing meals and bedding equivalent to those for adults, the rate is 70% of the adult rate. When providing children's meals and bedding, the rate is 50% of the adult rate. When providing bedding only, the rate is 3,000 yen (plus Tax).
2. Children 3 to 5 years old are required 2,000 yen (plus Tax) as a facility charge.

Attached Table No. 2
Cancellation Charge (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date when Cancellation of Contract is Notified	Contracted Number of Guests	No Show	Accommodation Day	1 Day Prior to A. Day	2 Days Prior to A. Day	3 Days Prior to A. Day	5 Days Prior to A. Day	6 Days Prior to A. Day	7 Days Prior to A. Day	8 Days Prior to A. Day	14 Days Prior to A. Day	15 Days Prior to A. Day	20 Days Prior to A. Day	30 Days Prior to A. Day
		from 1 to 8	100%	100%	80%	50%	30%							
from 9 to 30	100%	100%	80%	50%	50%	30%	30%	20%	20%					
from 31 to 100	100%	100%	80%	50%	50%	50%	30%	30%	20%	20%				
101 and more	100%	100%	80%	50%	50%	50%	50%	30%	30%	20%	20%	10%	10%	

- Remarks:
1. The percentages signifies the cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted are reduced, cancellation charges for the first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is canceled, the cancellation charge shall not be charged for persons in the booking equivalent to 10% (with fractions rounded up) of the total number of persons if cancellation is made 10 days prior to occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date).
4. The "Date when Cancellation of Contract is Notified" shall be based on Japan Standard Time.

利用規則

ホテルの公共性と安全性を維持するために、当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条にもとづいて、下記の規則をおまもりいただくことになっております。この規則をおまもりいただけないときは、宿泊約款第7条により宿泊のご継続をおことわりさせていただきます。この規則に定めのない事項については、宿泊約款によるものとします。

1. 遵守事項等

- (1) ホテル内で、暖房用、炊事用、プレス用などの火器やアイロンなどを許可なくご使用にならないこと。
- (2) ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所で喫煙をなさらないこと。
- (3) 高声、放歌や喧嘩な行為、その他、他人に嫌悪感を与えたり、迷惑をかけたりなさらないこと。
- (4) ホテル内に次のようなものをお持込みにならないこと。
 - イ 動物、鳥類。
 - ロ 不潔なもの、または悪臭を発するもの
 - ハ 著しく多量な物品。
 - ニ 火薬や揮発油など、発火あるいは引火しやすいもの。
 - ホ 適法に所持を許可されていない鉄砲、刀剣類。
- (5) ホテル内で賭博および風紀をみだすような行為をなさらないこと。
- (6) 外来者を客室内に入れたり、客室内の諸設備、諸物品などを使用させたりなさらないこと。
- (7) ホテル内の諸設備、諸物品をその目的以外の用途に使用なさらないこと。
- (8) 客室やロビーを事務所、営業所代わりに使用なさらないこと。
- (9) ホテル内の諸物品をホテルの外へ持出したり、ホテル内の他の場所に移動したりなさらないこと。
- (10) ホテルの建築物や諸設備に異物をとりつけたり、現状を変更するような加工をなさらないこと。
- (11) ホテルの外観をそこなうような品物を窓にかけたり、窓から物品を捨てたりなさらないこと。
- (12) ホテル内で、他のお客様に広告物を配布するような行為をなさらないこと。
- (13) ホテル内に所持品を放置なさらないこと。
- (14) ホテル以外から飲食物の出前をおとりにならないこと。
- (15) ご宿泊日数を変更なさる場合は、前もってフロント係員にご連絡下さること。
- (16) お預かりのお洗濯物やお忘れ物の保管は、特にご指定のない限り、ご出発後6ヵ月までとさせていただきます。
- (17) 刺青をされた方は大浴場での御利用をお断りいたします。

2. 駐車場のご利用について

- (1) 駐車場内では、係員の誘導および指示にしたがっていただきます。
- (2) 駐車中の車内に貴重品及びその他の品物を留置しないでください。駐車中における紛失、盗難等についてはその責任を負いかねます。
- (3) ホテルが指定した駐車スペース以外に駐車された車は、レッカーにて移動させていただきます。なお、レッカーに要した費用は、お客様に負担していただきます。
- (4) ホテルの係員による車の代行移動（パレーサービス）は、お断りいたします。
- (5) ご宿泊に伴う駐車場のご利用は下記の通りご料金を申し受けます。駐車料金のご精算は、フロントにて行いますのでお申し付けください。
 - 乗用車：ご宿泊1泊につき1台 1,000円
 - バイク：ご宿泊1泊につき1台 500円「Club TG」会員で当社ホームページからご予約のお客様については、無料でご利用いただけます。

Rules on Accommodation

To maintain the generality and reliability of the hotel, the guests of this hotel are requested to observe the following rules in accordance with the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts", Article 10. In case one of these rules is violated by certain guest, his or her stay will be discontinued regardless of the previous reservation in accordance with the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts", Article 7.

Any particulars not provided herein shall be governed by the "Terms and Conditions for Accommodation Contracts" .

1. Adherence Rules

- (1) Do not use an iron or any burner for heating, cooking or pressing in the hotel.
- (2) Do not smoke in bed or other places where causes of fire are apt to occur.
- (3) Do not give annoyance to the others by making a great noise or disgusting behaviors.
- (4) Do not carry the followings into the hotel.
 - (i) Animals, birds, etc.
 - (ii) Things unclean or with loathsome smell
 - (iii) Items of great quantity
 - (iv) Explosive items such as power, gasoline, etc.
 - (v) Illegally owned guns and swords
- (5) Do not gamble or behave in a demoralizing manner in the hotel.
- (6) Do not bring visitors into the room and let them use the furniture and fixtures.
- (7) Do not use the furniture and fixtures in the hotel for the purpose use other than the original object.
- (8) Do not use the room or the lobby as business offices.
- (9) Do not carry out fixtures in the hotel or transfer them to other places in the hotel.
- (10) Do not fix other items to the room or the furniture, or work up to alter those existing situations.
- (11) Do not hang on the window injurious things for outside view or throw away things from the window.
- (12) Do not deliver advertising materials to other guests in the hotel.
- (13) Do not leave your property in the hotel.
- (14) Do not order meals or drinks which must be delivered from outside of the hotel.
- (15) If you change the period of stay, notify the Hotel in advance.
- (16) Your laundries and other items left behind will be kept for the period of 6 months after your departure unless otherwise instructed in advance.
- (17) Do not use the public bath with tattoos.

2. Concerning use of THE HOTEL PARKING LOT

- (1) Please follow the instructions of the Hotel personnel when using the parking lot.
- (2) Do not leave valuables or cash in your vehicle. The Hotel cannot be held responsible for loss or theft of any items in vehicles parked on the premises.
- (3) Vehicles parked elsewhere will be subject to removal, with expenses for removal to be paid by the guest.
- (4) Valet parking is not available.
- (5) The following parking fees will be charged for use of the parking lot in conjunction with guest's stay. Please inquire about details regarding parking fees at the Front Desk.
[Parking Fee]
1,000 yen per car per night per stay
500 yen per motorcycle per night per stay
- Club TG members: Complimentary

Takayama Green Hotel